

(単位：千円)

決算書 (P258～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,113,159	906,328		107,489	412,400	80,513 (分担金、繰越金、 諸収入)	305,926
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
202,543	4,288			298	3,990	

【目的】

県営経営体育成基盤整備事業(大区画ほ場整備)を始め、ため池等の農業生産基盤の整備を行い、担い手育成の促進や中山間地域における農業の持続的発展と農地保全を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・担い手の育成や生産コストの削減を図るため、県及び土地改良区と連携しながら、県営ほ場整備事業による大区画化の生産基盤整備を推進し、1地区の事業完了を目指す。

○実施内容、これまでの経過等

- ・委託料、工事請負費

項目	内訳	事業費
里地棚田保全整備事業	ため池改修工事 用水圧送管更新工事	27,400
農地耕作条件改善事業	農道舗装工事 用水圧送管更新工事	9,223
維持管理適正化事業	排水機場電気設備更新工事	5,940
農村地域防災減災事業	震災対策農業水利施設調査計画業務委託 ため池廃止工事	12,637
団体営調査設計事業	地質調査業務委託 調査計画業務委託	62,056
合計		117,256

決算書 (P258～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・負担金補助及び交付金

項目	内 訳	事業費	市負担金
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）	14地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区）	1,966,164	191,196
県営農地環境整備事業	7地区（安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区）	858,000	104,334
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	2地区（大潟区・頸城区、柿崎区・吉川区）	1,738,909	409,138
県営かんがい排水事業	1地区（大潟区・吉川区）	78,000	15,940
県営ため池等整備事業	9地区（合併前上越市、吉川区、三和区）	422,047	42,110
	合 計	5,063,120	762,718
その他負担金			
国営造成施設管理体制整備促進事業負担金	関川地区	-	2,709
維持管理適正化事業負担金	新堀川排砂揚水機場（大潟区）ほか	-	1,568
土地改良関係団体、各種協議会等負担金	上越農地協議会 新潟県土地改良事業団体連合会 関川用水地区推進協議会 新潟県経営体育成農地集積促進協議会	-	2,975
	合 計	-	7,252
補助金			
農地耕作条件改善事業補助金	1地区（合併前上越市）	-	460
維持管理適正化事業補助金	10地区（合併前上越市、柿崎区、頸城区、板倉区、清里区、三和区）	-	4,238
団体営基盤整備促進事業補助金	5地区（合併前上越市、大潟区、頸城区、吉川区）	-	10,161
県単農業農村整備事業補助金	2地区（合併前上越市、板倉区、清里区、三和区）	-	1,194
団体営基幹水利施設ストックマネジメント事業補助金	1地区（頸城区）	-	2,810
	合 計	-	18,863

決算書 (P258～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

○県営経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）の主な内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	平成30年度まで	進捗率(%)	市負担金
三和中部 第1	H10～R2	区画整理 A=214.5ha 暗渠排水 A=197.7ha 集落道路 L=645.0m 灌漑排水 L=5,728m	区画整理 A=209.9ha 暗渠排水 A=192.2ha 集落道路 L=450.0m 灌漑排水 L=5,728m	95.5	20,450
三和南部	H11～R2	区画整理 A=295.1ha 暗渠排水 A=289.3ha 集落道路 L=905.0m 排水路 L=300.0m	区画整理 A=287.1ha 暗渠排水 A=273.0ha 集落道路 L=905.0m 排水路 L=277.5m	99.0	599
中江北部 第2	H11～R2	区画整理 A=548.4ha 暗渠排水 A=540.7ha	区画整理 A=548.2ha 暗渠排水 A=536.1ha	98.2	40,000
新道	H16～R2	区画整理 A=40.4ha 暗渠排水 A=167.3ha 灌漑排水 L=28,870m	区画整理 A=40.4ha 暗渠排水 A=84.6ha 灌漑排水 L=28,562m	82.3	10,300
木島	H27～R2	区画整理 A=98.4ha 暗渠排水 A=24.5ha	区画整理 A=95.8ha 暗渠排水 A=14.0ha	82.9	36,182
高野	H29～R4	区画整理 A=81.4ha 暗渠排水 A=81.2ha	区画整理 A=38.3ha	39.4	61,801
今池	H30～R5	区画整理 A=40.2ha 暗渠排水 A=15.2ha	区画整理 A=4.5ha	17.1	11,800
岡野町	H30～R5	区画整理 A=44.0ha 暗渠排水 A=44.0ha	測量・実施設計	7.9	5,000
広島	H30～R5	区画整理 A=51.0ha 暗渠排水 A=34.0ha	測量・実施設計	9.7	148
中江有田	R元～R6		調査計画		56
原之町	R2～R7		調査計画		960
石沢	R2～R7		調査計画		1,110
島田	R2～R7		調査計画		1,880
東潟	R2～R7		調査計画		910
合 計					191,196

※進捗率は、事業費ベースで算出

決算書 (P258～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

○県営農地環境整備事業の主な内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	平成30年度まで	進捗率(%)	市負担金
宇津俣	H23～R元	区画整理 A=6.3ha 用排水施設 L=465m 農道 L=830m	区画整理 A=4.5ha 用排水施設 L=152m 農道 L=447m	81.0	750
上岡	H25～R2	区画整理 A=14.6ha 用排水施設 L=339m 農道 L=200m	区画整理 A=11.6ha 用排水施設 L=322.6m 農道 L=200m	88.4	7,500
上達	H26～R2	区画整理 A=1.2ha 用排水施設 L=1,793m 農道 L=1,188m	区画整理 A=1.1ha 用排水施設 L=1,222m	62.4	21,250
水野下牧	H26～R2	区画整理 A=8.4ha 暗渠排水 A=11.1ha 用排水施設 L=830m 農道 L=265m	区画整理 A=8.4ha 用排水施設 L=170m 農道 L=250m	69.7	16,900
坪野	H26～R元	区画整理 A=7.1ha 暗渠排水 A=6.9ha 用排水施設 N=1か所	区画整理 A=4.1ha 暗渠排水 A=3.0ha	70.8	5,900
樽田	H27～R2	区画整理 A=7.8ha 用排水施設 N=2か所 農道 L=757m	区画整理 A=6.1ha 用排水施設 N=2か所 農道 L=140m	76.5	10,625
道之下	H29～R4	区画整理 A=14.9ha 暗渠排水 A=18.4ha	区画整理 A=9.4ha	67.0	41,409
合 計					104,334

※進捗率は、事業費ベースで算出

○県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	平成30年度まで	進捗率(%)	市負担金
潟川(2期地区)	H24～R3	排水路工 L=7,133.0m	排水路工 L=3,104.6m	53.5	221,936
赤川	H27～R2	排水路工 L=2,660.0m	排水路工 L=863.6m	37.9	187,202
合 計					409,138

※進捗率は、事業費ベースで算出

○県営かんがい排水事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	平成30年度まで	進捗率(%)	市負担金
舟入川	H26～R元	排水路工 L=760.0m	排水路工 L=695.1m	89.0	15,940

※進捗率は、事業費ベースで算出

決算書 (P258～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

○県営ため池等整備事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	平成30年度まで	進捗率(%)	市負担金
末沢	H28～R元	ため池工 1箇所	(ため池工 1式)	69.2	10,340
柿谷	H29～H30	ため池工 1箇所	ため池工 1式	100.0	10,340
三ヶ字	H29～R2	頭首工ゲート 1箇所	測量・実施設計	4.6	144
石沢	H29～R2	頭首工ゲート 1箇所	測量・実施設計	5.1	255
松本	H29～R元	頭首工ゲート 1箇所	(ゲート工 1式)	81.1	11,280
三和	H30～R5	ため池工 4箇所	測量・実施設計	5.6	6,820
東立ヶ内	H30～R3	頭首工ゲート 1箇所	測量・実施設計	5.3	1,657
曲り戸	H30～R2	頭首工ゲート 1箇所	測量・実施設計	7.5	698
市之瀬	H30～R2	頭首工ゲート 1箇所	測量・実施設計	6.8	576
合 計					42,110

※進捗率は、事業費ベースで算出

※()については、未完成断面

○目標達成状況

- ・平成30年度に県営ほ場整備事業の完了を予定していた三和南部地区の換地業務が未了となり、事業期間が延伸されたことから事業完了とならなかった。

【事業の成果】

- ・県営経営体育成基盤整備事業により、ほ場の大区画化や汎用化など基盤整備の推進が図られた。
- ・県営農地環境整備事業やため池等整備事業により、中山間地域における生産条件の改善が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生産条件の改善と耕作放棄地の発生防止、担い手への農地集積を図るため、県及び土地改良区と連携し、引き続き県営事業を推進する。
- ・県では、ほ場整備の新規地区について、整備面積の2割以上の園芸品目の導入を目指すものとしており、品目の選定や機械・施設体系の整備について、農業者、えちご上越農業協同組合、県、土地改良区等と連携し取り組む必要がある。
- ・防災重点ため池について、今後、ハザードマップの作成や耐震・豪雨対策を推進する。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 298
委託料(110) 工事請負費(188)
- ・その他：県営事業等の事業費確定に伴い負担金及び補助金が減額となったため 3,536
農村地域防災減災事業等の実績が当初の見込みを下回ったため 444
事業実施に伴い端数残額が発生したため 10

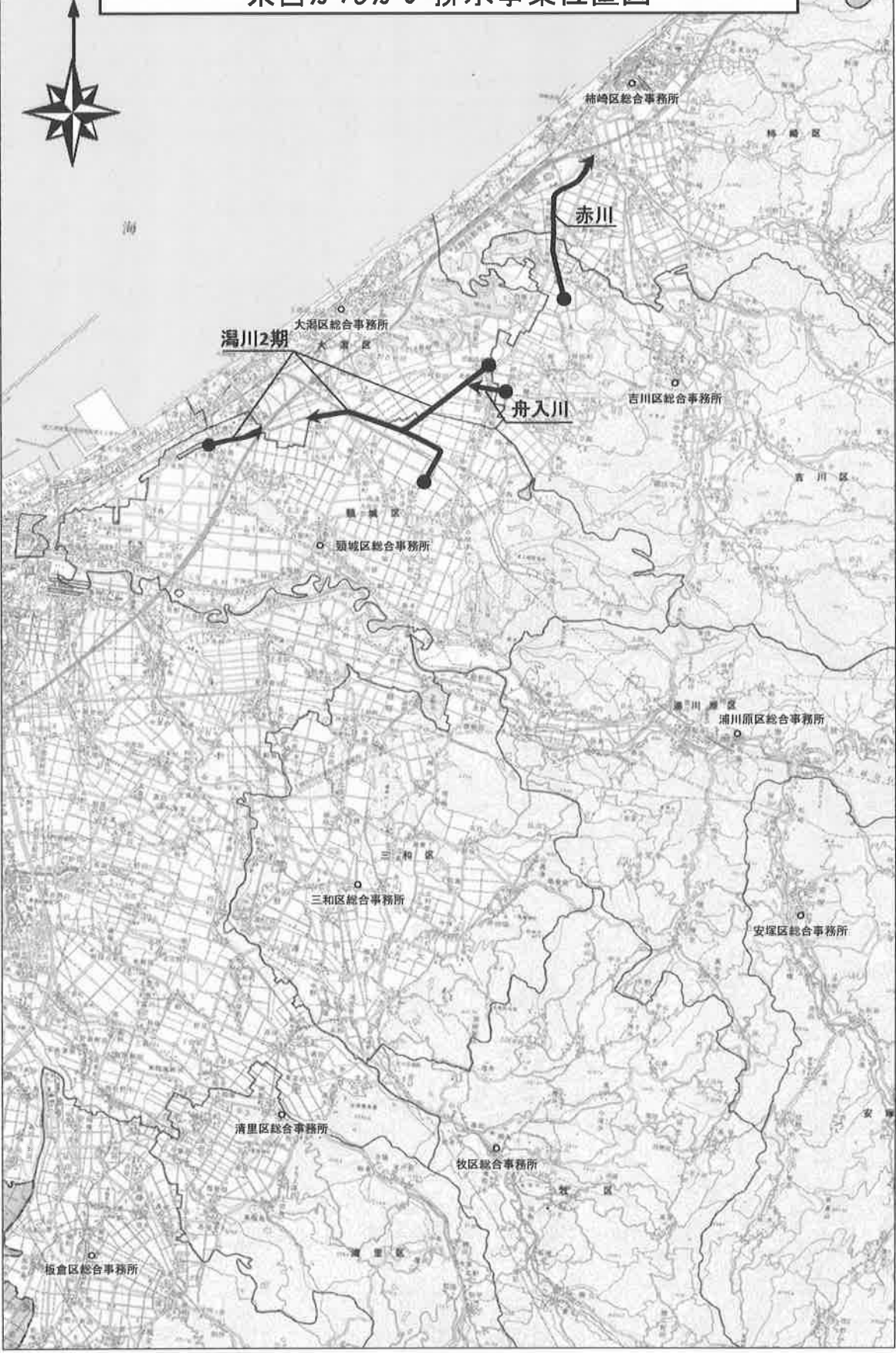
県営経営体育成基盤整備事業位置図



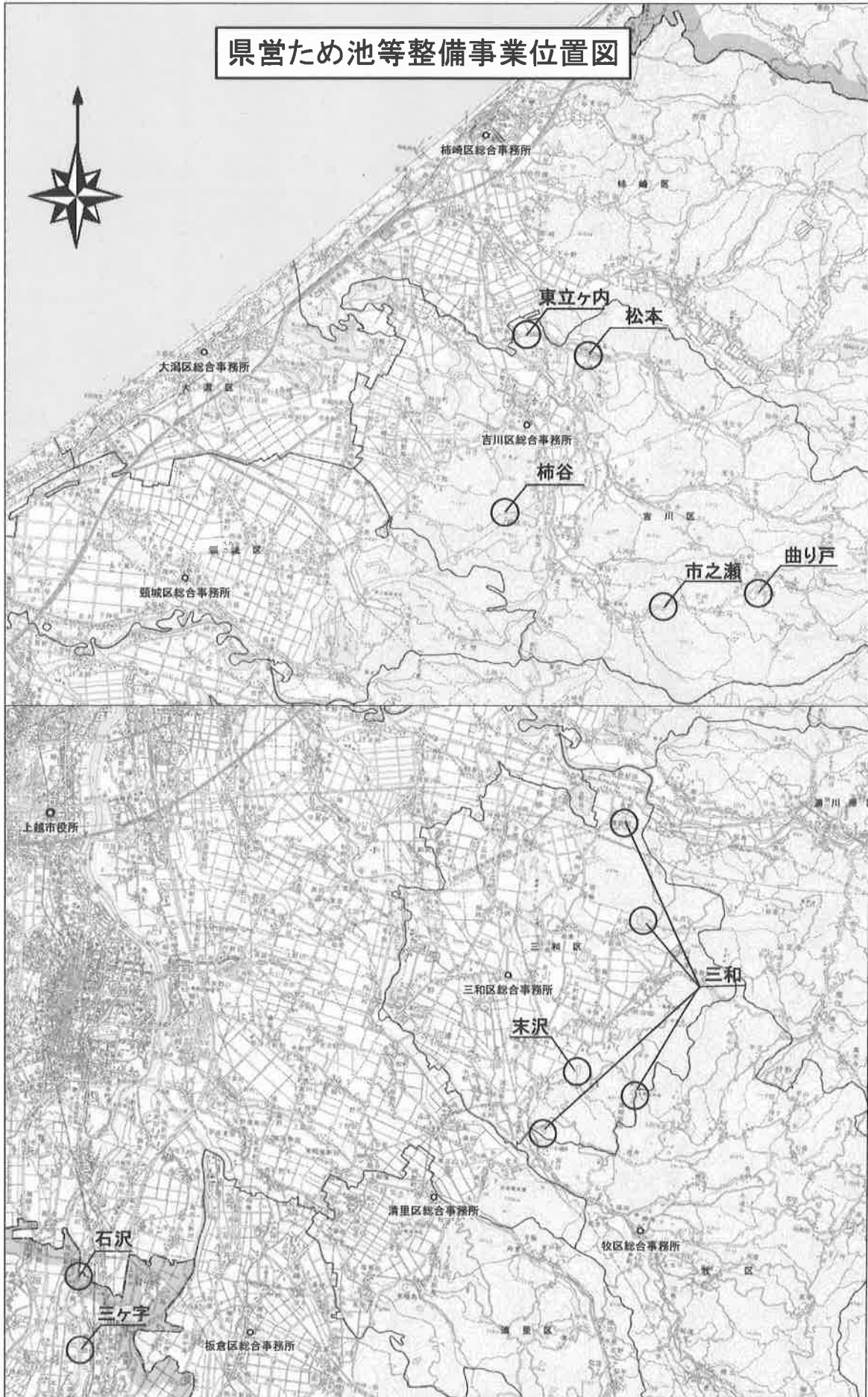
県営農地環境整備事業位置図



県営基幹水利施設ストックマネジメント事業及び
 県営かんがい排水事業位置図



県営ため池等整備事業位置図



(単位：千円)

決算書 (P260～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,558	3,423				286 (使用料、諸収入)	3,137
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	135			53	82	

【目的】

地域農業の振興やコミュニティ活動を推進する施設として、農業団体及び地域住民等が快適に利用できるよう、適切な管理と効率的な運営を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・清里活性化交流施設の維持管理及び運営

所在地	清里区武士407番地1
設置	平成14年度
構造	鉄筋コンクリート造2階建
面積	1,393.78 m ²
管理	直営(業務委託)

- ・施設利用者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	9,309人	9,107人	-	6,538人

決算書 (P260～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	468	377	425	286
	その他	0	1	1	0
	合計	468	378	426	286
②支出	施設維持管理費	2,706	3,041	3,532	3,397
	うち委託料	1,691	1,844	2,051	2,005
	その他	22	27	26	26
	合計	2,728	3,068	3,558	3,423
③公費投入額 (②-①)		2,260	2,690	3,132	3,137
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		243	295	-	480

【事業の成果】

- ・適切な維持管理の実施により、農業団体や地域住民等が実施する多様なコミュニティ活動の推進に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・平成30年度の利用者の減少は、研修会など大人数が利用する会合が開催されなかったことが主な要因である。
- ・交流広場や各会議室等の利用が増えるよう、活動団体への周知とあわせ、引き続き清里区内広報誌等に施設紹介の記事を掲載し、利用促進を図る。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等により執行残額が発生したため 53
 修繕料 (9)、委託料 (44)
- ・その他：需用費、使用料及び賃借料の実績が当初の見込みを下回ったため 78
 事業実施に伴い端数残額が発生したため 4

(単位：千円)

決算書 (P260～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	日本自然学習実践センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,732	3,732					3,732
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	0				0	

【目的】

地域の自然と独自の生態系を次世代に伝え、自然や生態系保全の意義、手法等を学習する場を提供する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・施設利用者数 800人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	日本自然学習実践センター
位置	頸城区大蒲生田4306番地
設置目的	環境の保全の意義及び手法を実地で学習する場を市民に提供することにより、環境の保全に関する理解を深め、地域における多様な生態系を将来にわたって確保する。

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人くびき里やま学校
指定の期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	634人	1,395人	800人	1,055人

決算書 (P260～P261)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	日本自然学習実践センター管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	日本自然学習実践センター管理運営委託料	3,402	3,402	3,402	3,402
	管理運営委託料以外の経費	136	294	330	330
	合計	3,538	3,696	3,732	3,732
③公費投入額 (②-①)		3,538	3,696	3,732	3,732
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		5,580	2,649	4,665	3,537

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	4,176
平成30年度の指定管理料 (委託料)	②	3,402
指定管理料の増減額	①-②	774

※草刈り範囲の見直し、管理期間の縮小により、指定管理委託料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	利用料金収入	-	-	-	-
	日本自然学習実践センター管理運営委託料	3,402	3,402	3,402	3,402
	その他	50	63	60	52
	合計	3,452	3,465	3,462	3,454
②支出		3,981	4,063	3,462	4,039
差引 (①-②)		△529	△598	0	△585

○目標達成状況

- ・広報上越等への掲載やPR活動により小学校の団体利用者数が増加したため、800人の目標に対して1,055人の実績となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・近接する大池いこいの森ビジターセンターと連携しながら、レクリエーションや体験学習、自然観察などを通じて地域の自然環境及び生態系の保全に対する理解を深めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・自然環境や生態系保全を学習する場として、適切な管理と利用しやすい施設運営に努める。

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,542	18,411		170		102 (借入金)	18,139
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	131			11	120	

【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚を図り、もって地域の特性に応じた森林の保全及び形成に資するため、施設の適切な管理と効率的な運営を行う。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

くわどり市民の森 15,201

○平成 30 年度目標

- ・施設利用者数 6,200 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字西谷内 488 番 2
設置	平成 14 年度
施設	管理棟、分区林、遊歩道ほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	6,101 人	5,917 人	6,200 人	6,114 人

決算書 (P262～P263)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		-	300	170	170
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	13,825	13,825	13,825
	管理運営委託料 以外の経費	1,248	1,509	1,422	1,376
	合計	15,073	15,334	15,247	15,201
③公費投入額 (②-①)		15,073	15,034	15,077	15,031
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,471	2,541	2,432	2,458

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	14,639
平成30年度の指定管理料 (委託料)	②	13,825
指定管理料の増減	①-②	814

※管理内容の見直しのため、指定管理料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	231	225	220	258
	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	13,825	13,825	13,825
	その他	382	516	351	274
	合計	14,438	14,566	14,396	14,357
②支出		14,437	14,563	14,396	14,356
差引 (①-②)		1	3	0	1

○目標達成状況

・団体利用者数が減少したことにあわせて、繁忙期である8月に猛暑日が多く、利用者数が少なかったことから、目標を達成することができなかった。

決算書 (P262～P263)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森 486

○実施内容、これまでの経過等

- ・光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森の維持管理及び運営

所在地	板倉区関田 4049 番地 (光ヶ原わさび田の森) 板倉区筒方 3251 番地 (光ヶ原みずばしょうの森)
設置	平成 13 年度
施設	木道、遊歩道ほか
面積	光ヶ原わさび田の森 5.9ha、光ヶ原みずばしょうの森 9.7ha
管理	直営 (業務委託)

二貫寺の森 1,804

○平成 30 年度目標

- ・自然観察会等参加者数 150 人

○実施内容、これまでの経過等

- ・二貫寺の森の維持管理及び運営

所在地	大字杉野袋 102 番地 1
設置	平成 23 年度
施設	管理棟、遊歩道ほか
面積	28.0ha
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

- ・自然観察会等参加者数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計 画	実 績
自然観察会等参加者数	130 人	122 人	150 人	109 人

※自然観察会等の参加者のみの人数であり、一般の利用者は含んでいない。

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	イベント参加費	12	9	15	8
	合計	12	9	15	8
②支出	施設維持管理費	1,523	1,474	1,782	1,751
	うち委託料	1,231	1,329	1,454	1,436
	その他	54	56	75	53
	合計	1,577	1,530	1,857	1,804
③公費投入額 (②-①)		1,565	1,521	1,842	1,796
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		12,038	12,467	12,280	16,477

決算書 (P262～P263)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

○目標達成状況

- ・広報上越や小学校への募集チラシ配布などで、イベントのPRを行ったが、目標を達成することができなかった。

あさひの里田麦ぶなの森園 920

○実施内容、これまでの経過等

- ・あさひの里田麦ぶなの森園の維持管理及び運営

所在地	大島区田麦 363 番地 5
設置	平成 5 年度
施設	管理棟、トイレ、オリエンテーリングコース、遊歩道ほか
面積	90.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計 画	実 績
施設利用者数	951 人	922 人	-	582 人

※越後田舎体験推進事業などの自然観察や自然散策、環境学習等の利用者で、人数が把握できなかったものを実績とした。

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	43	42	42	95
	合計	43	42	42	95
②支出	施設維持管理費	2,085	1,589	851	920
	うち委託料	513	409	410	409
	その他	-	-	-	-
	合計	2,085	1,589	851	920
③公費投入額 (②-①)		2,042	1,547	809	825
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		2,147	1,678	-	1,418

決算書 (P262～P263)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

【事業の成果】

くわどり市民の森

- ・指定管理者による充実した学習プログラムの提供やボランティア団体等による散策道の整備などにより、森林環境教育の推進を図ることができた。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・適切な維持管理を行い、施設的美観保持や信越トレイルの登山客などの休憩及び散策施設として提供することができた。

二貫寺の森

- ・自然観察会や自然体験イベントを通じて、豊かな自然の中で植物・昆虫の生態を学ぶ機会や工作をする機会を提供することができた。また、草刈りや園路のチップ敷均しなどを実施し、適切な維持管理に努めた。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・草刈りや遊歩道の修繕、危険木伐採などを行い園内の適切な維持管理に努め、自然環境について学ぶ機会を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

くわどり市民の森

- ・くわどり市民の森の魅力を伝えていくため、散策道と木工作体験の内容をより充実させ、ホームページ等を活用して情報を広く発信していく必要がある。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・多くの方から、ブナの巨木やみずばしょうの群生などの豊かな自然を楽しんでもらえるよう、草刈りなど適切な維持管理に努める必要がある。

二貫寺の森

- ・自然観察会や自然体験イベントについて専門的な講師を招き、より充実したものとして利用者の増加を図るとともに、施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・越後田舎体験推進事業や都市・農村交流促進事業（ふるさと農園）と連携して、あさひの里の魅力を発信するとともに、適切な維持管理に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 11
委託料 (11)
- ・その他：報酬、修繕料、委託事業の実績が当初の見込みを下回ったため 108
事業実施に伴い端数残額が発生したため 12

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
15,108	12,333		6,618			5,715
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,775		610	748	1,417	

【目的】

春日山等の観光地、景勝地及び海岸保安林などにおいて、松くい虫被害の蔓延を防止するため、薬剤散布や松くい虫の駆除を行い松林の保全を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・事業実施区域における松枯れの被害木除去率を 100%とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市全域

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
森林病虫害防除事業補助金	樹幹注入	合併前上越市ほか 申請件数：10 件	780

- ・合併前上越市、頸城区

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
松くい虫防除事業	伐倒駆除	西ヶ窪浜ほか 130 本 (100.6 m ³)	2,109
	薬剤散布(無人ヘリ)	西ヶ窪浜ほか 23.8ha	1,928
	被害木調査ほか	西ヶ窪浜ほか	810
合 計			4,847

- ・柿崎区、大潟区

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
松くい虫防除事業	伐倒駆除	上下浜ほか 250 本 (78.1 m ³)	1,904
	薬剤散布(無人ヘリ)	上下浜ほか 36.7ha	3,555
	被害木調査ほか	上下浜ほか	1,247
合 計			6,706

決算書 (P262～P263)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

○目標達成状況

- ・事業実施区域における松枯れの被害木を全て除去したことから、除去率100%を達成することができた。

【事業の成果】

- ・薬剤散布や伐倒駆除、樹幹注入の防除事業を実施したことにより、松くい虫の被害拡大防止と松林の健全な生育に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・松くい虫被害は急激に増加する性質があるため、薬剤散布などの継続的な予防対策を適切に実施する必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：松葉等処理業務について現場確認の結果、実施の必要がなくなったため 610
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 748
委託料(748)
- ・その他：委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,417

(単位：千円)

決算書 (P262～P265)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (財源収入、譲収入)	一般財源
13,488	10,592		1,749		2,230	6,613
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,896			19	2,877	

【目的】

森林保育管理事業

- ・森林の所在地や所有者などの基本情報を一元管理し、森林整備の円滑化を図る。

市営分収林整備

- ・市営分収林において良質な木材生産を目指し、適切な保育管理を行う。

森林総合研究所分収林整備

- ・国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターと分収契約をした牧区や柿崎区の水源林において、水資源のかん養機能を維持するため、適切な保育管理を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

市営分収林整備

- ・市営分収林の利用間伐5.3haを完了させる。

森林総合研究所分収林整備

- ・横倉第1団地及び蓬沢団地の除伐6.4haを完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

	主な内訳	事業費
森林保育管理事業	森林地図情報システム運用 1式	3,493
市営分収林整備委託料	土口団地 利用間伐 1.0ha 二貫寺の森 利用間伐 0.8ha	4,197
森林総合研究所分収林整備委託料	横倉第1団地 除伐 2.0ha 蓬沢団地 除伐 4.4ha	1,993
	合計	9,683

決算書 (P 262～P 265)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

○目標達成状況

市営分収林整備

- ・市営分収林の利用間伐については、12月の降雪の影響で1.8haの実施にとどまり、目標を達成することができなかった。

森林総合研究所分収林整備

- ・横倉第1団地及び蓬沢団地の除伐6.4haを実施し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

森林保育管理事業

- ・森林地図情報システムの実績データ更新及び保守点検を適切に行い、森林整備の進捗に寄与することができた。

市営分収林整備

- ・分収林における利用間伐の箇所については、12月の降雪の影響で予定していた施業範囲について完了できなかった。

森林総合研究所分収林整備

- ・分収林において除伐を実施し、水資源のかん養機能を維持するための健全な森林づくりができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

森林保育管理事業

- ・令和元年度から取り組んでいる森林経営管理制度の実施に向け、森林地図情報システム及び林地台帳システムを活用して、整備対象森林の抽出等を実施する必要がある。

市営分収林整備

- ・12月の降雪の影響で予定していた施業ができなかったことから、今後も良質な木材生産を実現するため、分収林の間伐や枝打ちなど早期発注に努め、計画的に森林整備を実施する必要がある。

森林総合研究所分収林整備

- ・水資源かん養機能の維持や土砂災害の発生を防止するため、分収林の除伐等の森林整備を継続して実施する必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 19
委託料 (19)
- ・その他：市営分収林間伐業務委託について、12月の降雪の影響で進入路が通行できず、施業範囲について完了が見込めなくなったため 2,794
委託料の実績が当初の見込みを下回ったため 78
事業実施に伴い端数残額が発生したため 5

(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,656	7,656			2,700		4,956
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	-					

【目的】

民有林の間伐や枝打ち等に係る経費を助成し、森林所有者の負担を軽減することにより、良質な地域材の生産と地球温暖化防止等に資する。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

森林整備事業補助金

○平成 30 年度目標

- ・森林所有者が行う 48.8ha の森林整備に対して支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・民有林の間伐、枝打ち等に係る所有者の負担を軽減し、森林整備を推進する。

実施内容	実施面積、延長	事業費
利用間伐、保育間伐、除伐、下刈り	54.4 ha	7,656
作業道整備	1,996 m	

○目標達成状況

- ・利用間伐等の森林整備実施面積が 54.4ha となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

民有林の間伐や枝打ち等に係る森林所有者の負担軽減が図られ、良質な地域材の生産と地球温暖化防止に貢献することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・森林の有する多面的機能が十分に発揮できるよう、森林経営計画の策定を促進する必要がある。

(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
74,590	67,883		12,525		2,443 (繰入金)	52,915
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6,707		709	2,594	3,404	

【目的】

既設林道の維持工事及び草刈り、側溝清掃などを実施するほか、林道巡視業務を行うことにより、災害発生の未然防止に努めるとともに、林道災害発生時の応急対応を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・市が管理する林道延長、路線数

区名	林道延長	路線数	備考(平成29年度比)
合併前上越市	44,123m	15路線	
安塚区	32,393m	9路線	
浦川原区	13,884m	4路線	
大島区	22,969m	11路線	
牧区	16,233m	5路線	
柿崎区	23,528m	12路線	
大潟区	-	-	
頸城区	8,506m	3路線	
吉川区	24,561m	9路線	
中郷区	9,446m	3路線	
板倉区	21,066m	7路線	
清里区	28,739m	10路線	
三和区	5,469m	2路線	
名立区	31,206m	7路線	林道大町躰畑線 450m増
合計	282,123m	97路線	

決算書 (P264～P265)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

・主な実施内容

区 分	内 訳
調査業務委託料	林道橋調査業務委託 1件
林道維持管理業務委託料	林道巡視業務委託 97路線
林道除草業務委託料	除草業務委託 87路線
林道除雪業務委託料	春先除雪業務委託 23路線
林道維持工事	維持修繕工事 13件

【事業の成果】

- ・林道を維持・保全し、林道利用者の利便性の向上と安全を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・災害の発生を未然に防ぎ、安全な通行を確保するため、林道を適切に維持管理する必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：雪解けが早く一部の区において林道春先除雪を実施しなかったため 709
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 2,594
委託料 (2,565) 工事請負費 (29)
- ・その他：委託業務と工事内容の精査等に伴い減となったため 3,383
事業実施に伴い端数残額が発生したため 21

(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町鉢畑線整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
93,666	93,663		65,170	28,400		93
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

【目的】

林道を開設することにより、沿線における間伐・枝打ちなどの森林整備事業を促進し、林業の振興を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・林道開設を400m実施し、進捗率を54.0%とする。(平成29年度47.8%)

○実施内容、これまでの経過等

- ・全体開設計画 L=6,490mからL=5,867m W=4.0mに変更(2月20日重要変更承認)
- ・県と協議を行った結果、車両の安全な通行を確保するとともに、地すべり地形等を通らない法線に見直しを行い、全体計画延長を623m削減した。

<事業進捗状況>

区分	全体計画 (H17～R6年度)	平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 以降
工事延長 (m)	5,867	3,102	450	2,315
補助対象事業費 (千円)	823,034	400,220	93,663	329,151
開設進捗率 (%)		52.9	60.5	

○目標達成状況

- ・林道開設を450m実施し、進捗率が60.5%となったことから目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・林道沿線に広く分布する杉人工林の整備促進につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・残事業量が多いことから舗装構成、法面保護の工種見直しなどを行い、事業費の縮減に努める。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

林道大町躰畑線整備事業施工位置図



(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,627	11,623					11,623
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4				4	

【目的】

林業の振興、市民の休養、健康増進及び森林環境学習の推進を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・施設利用者数 17,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	南葉高原キャンプ場
位置	大字後谷 251 番地 8
設置目的	林業の振興並びに市民の休養、健康増進及び森林環境学習の推進を図る

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	南葉高原キャンプ場管理運営協議会
指定の期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	16,585人	16,654人	17,000人	17,012人
宿泊者数	3,891人	4,050人	-	4,150人
日帰り者数	12,694人	12,604人	-	12,862人

決算書 (P264～P265)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			予 算	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	8,303	8,303	8,303
	管理運営委託料以外の経費	745	1,996	3,324
	合計	9,048	10,299	11,627
③公費投入額 (②-①)	9,048	10,299	11,627	11,623
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	546	618	684	683

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	8,785
平成30年度の指定管理料 (委託料)	②	8,303
指定管理料の増減額	①-②	482

※管理内容を見直ししたため、指定管理料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	3,353	3,277	2,800	4,002
	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	8,303	8,303	8,303	8,303
	その他	4,463	3,893	3,236	3,788
	合計	16,119	15,473	14,339	16,093
②支出	15,482	15,018	14,339	15,468	
差引 (①-②)	637	455	0	625	

○目標達成状況

・5月から8月の集客が堅調に推移し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

・施設内の維持管理を適切に行い、利用者に休養と健康増進の環境を提供するとともに、森林環境学習の推進に貢献することができた。

決算書 (P264～P265)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・平成 30 年 12 月 19 日に焼失した南葉山荘の跡地利用について地元と協議し、今後の運用について検討する必要がある。
- ・オープンから 37 年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を実施する必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 4

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,813	6,811					6,811
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2			2		

【目的】

森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・施設利用者数 2,800人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	2,638人	2,788人	2,800人	2,715人
宿泊者数	685人	792人	-	713人
日帰り者数	1,953人	1,996人	-	2,002人

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,290	6,290
	管理運営委託料以外の経費	845	589	523	521
	合計	7,135	6,879	6,813	6,811
③公費投入額 (②-①)		7,135	6,879	6,813	6,811
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		2,705	2,467	2,433	2,509

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理平均額 (決算ベース)	①	6,437
平成30年度の指定管理料 (委託料)	②	6,290
指定管理料の増減額	①-②	147

※管理内容を見直ししたため、指定管理委託料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,732	2,075	1,300	2,290
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,290	6,290
	その他	545	1,263	1,400	1,259
	合計	8,567	9,628	8,990	9,839
②支出		8,190	8,915	8,990	9,107
差引 (①-②)		377	713	0	732

○目標達成状況

- ・インターネット予約の活用などにより利用者確保に努めたが、繁忙期である8月に猛暑日が多く宿泊利用が少なかったことから、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・施設内の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することにより、市民の健康増進が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者増に取り組む必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,609	1,599					1,599
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10				10	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大潟夕日の森の維持管理及び運営

所在地	大潟区潟町209番地ほか
設置	昭和55年度
施設	夕日の森展望台、遊歩道、ハマナスの池、駐車場1,200㎡ (40台)、水洗トイレ2か所
面積	11.5ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,315	1,366	1,609	1,599
	うち委託料	1,073	1,119	1,119	1,119
	その他	-	-	-	-
	合計	1,315	1,366	1,609	1,599
③公費投入額(②-①)		1,315	1,366	1,609	1,599

決算書 (P266～P267)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 8
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
780	777				9 (請収入)	768
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・上下浜日本海夕日の森の維持管理及び運営

所在地	柿崎区上下浜 244 番地 3 ほか
設置	平成7年度
施設	駐車場 1,200 m ² (40 台)、公衆トイレ 1 か所、遊歩道
面積	2.5ha
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	1,092	880	780	777
	うち委託料	386	385	385	384
	その他	-	-	-	-
	合計	1,092	880	780	777
③公費投入額 (②-①)		1,083	871	771	768

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 1
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
223	217				9 (借入金)	208
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6				6	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	107 人	98 人	-	193 人

※越後田舎体験推進事業などでの自然観察や自然散策、環境学習等の利用者で、人数が把握できなかったものを実績とした。

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	9	9	9
	合計	9	9	9
②支出	施設維持管理費	219	219	223
	うち委託料	203	203	204
	その他	-	-	-
	合計	219	219	223
③公費投入額(②-①)		210	210	214
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		1,963	2,143	-
				1,078

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・越後田舎体験推進事業と連携して、やすらぎの森大島の魅力を発信できるよう、維持管理を継続して実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：需要費、役務費が当初の見込みを下回ったため 6

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,704	6,687					6,687
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	17				17	

【目的】

水産業の振興と市民の健全な余暇活動の増進を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成 30 年度目標

- ・利用者数 10,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	海洋フィッシングセンター
位置	大字虫生岩戸 719 番地先
設置目的	水産業の振興と市民の健全な余暇活動の増進を図るため。

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 23 年度
指定管理者	環境をサポートする株式会社きらめき
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計画	実績
利用者数	7,864 人	8,449 人	10,000 人	8,081 人

決算書 (P266～P267)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	フィッシングセンター管理運営委託料	539	501	500	500
	管理運営委託料以外の経費	1,902	5,881	6,204	6,187
	合計	2,441	6,382	6,704	6,687
③公費投入額 (②-①)		2,441	6,382	6,704	6,687
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		310	755	670	827

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	632
平成 30 年度の指定管理料 (委託料)	②	500
指定管理料の増減額	①-②	132

※指定管理者が行う修繕工事の対象金額見直し等のため指定管理料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		平成 27 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,178	1,265	1,500	1,211
	フィッシングセンター管理運営委託料	539	501	500	500
	その他	1,476	1,617	1,890	1,488
	合計	3,193	3,383	3,890	3,199
②支出		3,516	3,018	3,890	2,824
差引 (①-②)		△323	365	0	375

○目標達成状況

- ・集客の約7割がゴールデンウィークと夏休みの期間であるが、5月の天候不順と夏休み期間の猛暑により、利用者的大幅減(5.7.8月の目標:7,450人、実績:5,585人、1,865人減)となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・定期的に親子釣り教室や夏休み感謝祭を開催し、釣りを通じて海と触れ合う機会を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・水産業の振興のため、指定管理者と連携したPR活動を行い、更なる集客に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・そ の 他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 17

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,255	2,226		300			1,926
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	29				29	

【目的】

持続的な漁業生産を確保するため、漁業環境の整備を推進し、水産資源の維持増大を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・漁業団体が行う水産資源の維持を図る取組を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・漁業種苗放流事業補助金

漁場	漁業協同組合	魚種	数量	事業費
海面	上越市漁業協同組合	ヒラメ	21,000尾	837
		クルマエビ	100,000尾	
	名立漁業協同組合	ヒラメ	1,900尾	56
内水面	関川水系漁業協同組合	アユ	270kg	433
	桑取川漁業協同組合	アユ	80kg	128
合計		-	-	1,454

○目標達成状況

- ・海面及び内水面漁業協同組合が行った、ヒラメやアユなどの種苗放流に対し支援した。

【事業の成果】

- ・種苗放流の継続的な実施により、資源の維持が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・持続的な漁業生産を確保するため、引き続き、水産資源の維持増大を図るための取組を支援する必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：旅費、有料道路使用料が当初の見込みを下回ったため 29

(単位：千円)

決算書 (P266～P269)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業 (フィッシャリーナ)		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,202	8,104		437		2,546 (使用料、諸収入)	5,121
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	98			27	71	

【事業の目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進と併せて、漁港施設の利便性を確保する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・有間川漁港の概要

所在地	有間川地内
設置経過	昭和49年 第1種漁港指定 昭和50年 着工 平成25年 完成

・主な事業内容

係留用チェーン取替工事 2,275

○施設の管理実績

・フィッシャリーナ利用実績

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
プレジャーボート	7隻	4隻	4隻	4隻
営業船(釣船等)	6隻	7隻	7隻	7隻
ヨット	1隻	1隻	1隻	1隻
合計	14隻	12隻	12隻	12隻

決算書 (P266～P269)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業 (フィッシャリーナ)		

・施設管理における市の収支状況

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	2,678	2,527	2,525	2,505
	その他	41	41	41	41
	合計	2,719	2,568	2,566	2,546
②支出	施設維持管理費	6,255	23,097	6,883	6,811
	うち委託料	2,928	2,861	2,961	2,934
	その他	389	389	389	389
	合計	6,644	23,486	7,272	7,200
③公費投入額 (②-①)		3,925	20,918	4,706	4,654
④利用船1隻当たりの 公費投入額 (単位:円)		280,357	1,743,166	392,167	387,833

※フィッシャリーナの管理運営に係る経費で算出

【事業の成果】

- ・適切な維持管理の実施により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性の確保に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や利用者への聞き取り等により施設の状況を把握し、船舶の入出港や係留に支障をきたすことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 27
委託料 (27)
- ・その他：実績が当初の見込みを下回ったため 68
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,722	16,685				19 (諸収入)	16,666
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	37			2	35	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性の向上を図る。

平成 30 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・柿崎漁港の概要

所在地	柿崎区直海浜地内
設置経過	昭和52年 第1種漁港指定
	昭和53年 着工
	平成11年 供用開始
	平成21年 完成

・主な事業内容

西防波堤補強工事 16,163

(被覆ブロック撤去・設置 25個、水中コンクリート打設 20 m³)

決算書 (P268～P269)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	19	19	19	19
	合計	19	19	19	19
②支出	施設維持管理費	2,870	5,427	16,722	16,685
	うち委託料	92	162	377	376
	その他	-	-	-	-
	合計	2,870	5,427	16,722	16,685
③公費投入額 (②-①)		2,851	5,408	16,703	16,666

【事業の成果】

- ・西防波堤補強工事を行い、船舶の安全性や漁港利用者の利便性の確保を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の出漁や係留に支障をきたすことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 2
委託料(1) 工事請負(1)
- ・その他：実績が当初の見込みを下回ったため 35

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6 款 3 項 2 目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
684	677				14 (使用料)	663
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7			4	3	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進と併せて、漁港施設の利便性の向上を図る。

平成 30 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・大潟漁港の概要

所在地	大潟区渋柿浜地内
設置経過	昭和 57 年 第 1 種漁港指定
	昭和 57 年 着工
	平成 17 年 供用開始
	平成 27 年 完成

・主な事業内容

滑り材修繕工事 443

決算書 (P268～P269)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	14	14	14	14
	その他	-	-	-	-
	合計	14	14	14	14
②支出	施設維持管理費	4,584	5,432	684	677
	うち委託料	146	129	146	144
	その他	-	-	-	-
	合計	4,584	5,432	684	677
③公費投入額 (②-①)		4,570	5,418	670	663

【事業の成果】

- ・滑り材修繕工事を行い、船舶の安全性や漁港利用者の利便性の確保を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の出漁や係留に支障をきたすことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 4
委託料 (3) 工事請負費 (1)
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	11款1項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
582,083	508,113		161,943	29,800	186,113 (分担金、手数料、繰越金)	130,257
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
14,230	59,740	137			59,603	

【目的】

融雪、豪雨等により被災した農地、農業用施設を復旧し、農業農村の維持と農業経営の安定を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- 被災した農地及び農業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- 平成30年度災害復旧工事件数

区分	平成29年度(繰越)		平成30年度					合計
	公共災害	小規模災害	公共災害	小規模災害			干ばつ災害	
	7月豪雨等	台風21号	8月豪雨	融雪	8月豪雨	11月豪雨	7月干天	
合併前上越市	5	20	1 (1)	6	12	-	-	44 (1)
安塚区	-	8	-	-	35	1 (1)	30	74 (1)
浦川原区	-	3	1 (1)	-	54	1 (1)	1	60 (2)
大島区	1	4	-	1	34	1 (1)	16	57 (1)
牧区	3	58	-	17	17	-	36	131
柿崎区	2	1	-	3	5	-	-	11
頸城区	-	-	-	1	9	-	-	10
吉川区	-	-	-	1	10	-	2	13
中郷区	-	26	-	-	3	-	-	29
板倉区	1	113	-	8	6	-	1	129
清里区	-	25	-	15	12	-	-	52
三和区	-	1	-	1	15	-	1	18
名立区	3	55	-	4	9	2	-	73
合計	15	314	2 (2)	57	221	5 (3)	87	701 (5)
				283 (3)				

()内は、令和元年度へ繰り越した件数、また、件数には事業主体が土地改良区の工事を含む。

決算書 (P 368～P 369)	11 款 1 項 1 目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

○目標達成状況

- ・平成 30 年度の豪雨や干ばつにより被災した農地、農業用施設については、令和元年度の耕作に支障のないよう復旧を行い、農業経営の維持・安定を図ることができた。

【事業の成果】

- ・平成 29 年度に発生した公共災害 15 件、小規模災害 314 件について復旧工事が完了した。
- ・平成 30 年度に発生した公共災害については、降雪により 2 件とも令和元年度へ繰り越した。
- ・平成 30 年度に発生した小規模災害については、283 件のうち 280 件の復旧工事が完了した。残りの 3 件は、降雪により令和元年度へ繰り越した。
- ・平成 30 年度に発生した干ばつ災害については、87 件(約 52.5ha)の復旧工事が全て完了した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も農業農村の維持と農業経営の安定のため、災害の未然防止を図るとともに災害が発生した際は、早期着手と早期完了に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・事業費節減：復旧工事の早期完了に伴い、耕作補償が不要となったため 137
- ・その他：需用費、工事請負費、負担金補助及び交付金等の実績が当初の見込みを下回ったため 59,601
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	11款1項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
198,235	196,799		107,510	9,000	72,527 (繰越金)	7,762
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,436			583	853	

【事業の目的】

融雪、豪雨等により被災した林業用施設を復旧し、安全・安心な施設利用と林業経営等の安定を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- 被災した林業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- 平成30年度災害復旧工事件数

区分	平成29年度(繰越)			平成30年度				合計
	公共災害		小規模災害	小規模災害				
	7月豪雨	台風21号	台風21号	融雪等	8月豪雨	10月豪雨	11月豪雨	
合併前上越市	1	3	9	2	-	-	1	16
安塚区	-	1	14	1	-	-	-	16
浦川原区	-	-	-	1	2	2	-	5
大島区	-	1	7	2	-	1	-	11
牧区	-	-	-	1	-	-	-	1
柿崎区	-	-	1	-	1	1	-	3
頸城区	-	-	-	-	-	-	-	-
吉川区	-	-	-	-	-	-	-	-
中郷区	-	-	4	-	-	-	-	4
板倉区	-	1	7	-	-	-	-	8
清里区	-	1	13	1	2	-	-	17
三和区	-	-	-	-	-	-	-	-
名立区	-	1	7	-	-	-	-	8
合計	1	8	62	8	5	4	1	89
					18			

- 平成30年度災害委託件数(平成29年度繰越) 地質調査業務委託 1件

決算書 (P368～P369)	11款1項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

○目標達成状況

- ・平成30年度の融雪等により被災した林業用施設については、復旧工事が全て完了し、安全・安心な施設利用と林業経営等の安定を図ることができた。

【事業の成果】

- ・平成29年度に発生した公共災害9件、小規模災害62件、地質調査委託1件については復旧工事及び業務が完了した。
- ・平成30年度に発生した融雪及び豪雨災害については、18件の復旧工事が全て完了した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も適切な維持管理を実施し、災害の未然防止を図るとともに災害が発生した際は、早期着手と早期完了に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 583
- ・その他：工事費の実績が当初の見込みを下回ったため 853